

【 まちの将来像6 】

心がけから行動へ
みんなで創る環境にやさしいまち

1 施策の概要

まちの将来像	6	心がけから行動へ みんなで創る環境にやさしいまち
施 策	6-1	いごこちの良い生活環境をたもつ
施策の方向性	大気・水環境等の環境監視による環境の把握に努めるとともに、事業者に対する指導や公共下水道・公設浄化槽の整備による環境の保全対策を進めます。また、環境美化などについての意識啓発を進め、市民一人ひとりのマナーが向上し、いごこちの良い生活環境を保ちます。	
★：重点プラン 該当取組	1	健康に過ごすことができる生活環境の保全
	2	新たな環境課題への対応
	3	快適環境の保全
	4	
	5	
	6	
	7	

2 実施計画

★：重点プラン該当取組、◎重点プラン該当事業

取 組		6-1-1		健康に過ごすことができる生活環境の保全									
1	事業名	大気汚染防止法等関連事務事業											
	目的 及び 概要	工場・事業場の事業活動や建築物の解体等に伴うばい煙、揮発性有機化合物及び粉じんの排出を規制する等により、市民の健康を保護するとともに生活環境を保全する。	H 28 年 度	内 容	①届出の受理及び審査 ②立入調査 ③特定粉じん等測定業務委託						事業の方向性 の見込み (対前年度比)		
											H29 年度	継続	
											H30 年度	継続	
											H31 年度	継続	
											H32 年度	継続	
	方向性 (対前年度比)	継続	事業費 (百万円)	1.3	うち市負担分 (百万円)	1.3	H32 年度	継続					
担当課	部名	産業環境部	課名	環境政策課	会計区分	一般	事業区分	ソフト					
2	事業名	水質汚濁防止法等関連事務事業											
	目的 及び 概要	工場・事業場からの排水水及び地下浸透水について規制を行なうほか、生活排水対策を講じる等により、公共用水域及び地下水の水質の汚濁の防止を図り、もって市民の健康を保護するとともに生活環境を保全する。	H 28 年 度	内 容	①届出の受理及び審査 ②立入調査 ③排水測定 ④指導・助言						事業の方向性 の見込み (対前年度比)		
											H29 年度	継続	
											H30 年度	継続	
											H31 年度	継続	
											H32 年度	継続	
	方向性 (対前年度比)	継続	事業費 (百万円)	2.6	うち市負担分 (百万円)	2.6	H32 年度	継続					
担当課	部名	産業環境部	課名	環境政策課	会計区分	一般	事業区分	ソフト					
3	事業名	下水道施設(管渠)改良事業											
	目的 及び 概要	老朽化した管渠等の損傷による機能停止及び事故発生を未然に防ぐため、対策内容や実施時期を定めた「下水道長寿命化計画」に基づき、対策事業を実施する。	H 28 年 度	内 容	①長寿命化計画に基づく管渠の改築・更生工事 ②人孔蓋改築工事 ③人孔蓋調査・点検 ④管路調査・点検						事業の方向性 の見込み (対前年度比)		
											H29 年度	継続	
											H30 年度	継続	
											H31 年度	継続	
											H32 年度	継続	
	方向性 (対前年度比)	継続	事業費 (百万円)	144.2	うち市負担分 (百万円)	43.0	H32 年度	継続					
担当課	部名	建設部	課名	下水道施設課	会計区分	下水企業	事業区分	ハード					

事業の方向性の意味については9ページを参照してください。

4	事業名	下水道施設(ポンプ場)改良事業												
	目的 及び 概要	公共下水道ポンプ場の適正な運転稼働を保つため、電気・機械設備の更新計画等を定めた「下水道長寿命化計画」に基づき、対策事業を実施する。	H 28 年度	内 容	【大池ポンプ場】 ①長寿命化計画に基づく電気設備等の対策工事							事業の方向性 の見込み (対前年度比)		
					方向性 (対前年度比)		継続	事業費 (百万円)	300.0	うち市負担分 (百万円)	151.0	H29 年度	継続	
					方向性 (対前年度比)		継続	事業費 (百万円)	300.0	うち市負担分 (百万円)	151.0	H30 年度	継続	
担当課		部名	建設部	課名	下水道施設課	会計区分	下水企業		事業区分	ハード				
5	事業名	公共下水道整備事業(汚水)												
	目的 及び 概要	公共用水域の水質保全、浸水防除、水洗化による公衆衛生の向上に資するため、公共下水道の整備を進める。 公共下水道計画区域内における下水道施設の整備促進を図る。	H 28 年度	内 容	①整備工事費 ②測量設計費 ③工事関係負担金							事業の方向性 の見込み (対前年度比)		
					方向性 (対前年度比)		継続	事業費 (百万円)	40.6	うち市負担分 (百万円)	0.0	H29 年度	継続	
					方向性 (対前年度比)		継続	事業費 (百万円)	40.6	うち市負担分 (百万円)	0.0	H30 年度	継続	
担当課		部名	建設部	課名	下水道総務課	会計区分	下水企業		事業区分	ハード				
6	事業名	特定環境保全公共下水道整備事業												
	目的 及び 概要	公共用水域(安威川ダム湖)の水質保全、水洗化による公衆衛生の向上に資するため、公共下水道の整備を進める。 特定環境保全公共下水道区域内における下水道施設の整備促進を図る。	H 28 年度	内 容	①整備工事費 ②測量設計費 ③工事関係負担金							事業の方向性 の見込み (対前年度比)		
					方向性 (対前年度比)		継続	事業費 (百万円)	81.0	うち市負担分 (百万円)	0.0	H29 年度	継続	
					方向性 (対前年度比)		継続	事業費 (百万円)	81.0	うち市負担分 (百万円)	0.0	H30 年度	完了	
担当課		部名	建設部	課名	下水道総務課	会計区分	下水企業		事業区分	ハード				
7	事業名	合併処理浄化槽整備事業												
	目的 及び 概要	公共用水域の水質保全、水洗化による公衆衛生の向上に資するため、合併処理浄化槽の整備を進める。 合併処理浄化槽区域内における生活排水施設の整備促進を図る。	H 28 年度	内 容	①整備工事費 ②測量設計費 ③工事関係負担金							事業の方向性 の見込み (対前年度比)		
					方向性 (対前年度比)		継続	事業費 (百万円)	61.7	うち市負担分 (百万円)	49.3	H29 年度	継続	
					方向性 (対前年度比)		継続	事業費 (百万円)	61.7	うち市負担分 (百万円)	49.3	H30 年度	継続	
担当課		部名	建設部	課名	下水道総務課	会計区分	下水企業		事業区分	ハード				

事業の方向性の意味については9ページを参照してください。

8	事業名	騒音・振動規制法等関連事務事業										
目的 及び 概要	工場・事業場の事業活動や建設工事に伴い発生する騒音及び振動を規制することにより、市民の健康を保護するとともに生活環境を保全する。	H 28 年度	内 容	①規制基準の設定 ②設置届出等の受理及び審査 ③特定建設作業に係る届出の受理及び審査 ④立入調査 ⑤拡声器の使用及び深夜における音響機器の使用に関する規制						事業の方向性 の見込み (対前年度比)		
										H29 年度	継続	
										H30 年度	継続	
										H31 年度	継続	
				方向性 (対前年度比)	継続	事業費 (百万円)	0.0	うち市負担分 (百万円)	0.0	H32 年度	継続	
担当課	部名	産業環境部	課名	環境政策課	会計区分	一般	事業区分	ソフト				
9	事業名	公害苦情・相談事務事業										
目的 及び 概要	大気・水質・騒音・振動などに関し、公害苦情及び相談を受けたときは、関係課と連携し、発生源事業所に対する改善指導を行い、良好な生活環境を保全する。	H 28 年度	内 容	①苦情・相談の受付 ②関係課との連携 ③現場確認 ④原因調査 ⑤苦情・相談者に報告						事業の方向性 の見込み (対前年度比)		
										H29 年度	継続	
										H30 年度	継続	
										H31 年度	継続	
				方向性 (対前年度比)	継続	事業費 (百万円)	0.0	うち市負担分 (百万円)	0.0	H32 年度	継続	
担当課	部名	産業環境部	課名	環境政策課	会計区分	一般	事業区分	ソフト				
10	事業名	環境監視事務事業										
目的 及び 概要	市内の大気汚染、水質汚濁、騒音の状況を把握するため、大気常時監視や酸性雨調査、河川及び地下水の水質測定、一般環境及び道路沿道の騒音測定を行う。また、オキシダント緊急時等の際には、関係機関に通報連絡する。	H 28 年度	内 容	①測定局の維持管理 ②水質測定業務における水生生物モニタリング調査において、調査地点を拡大し、精度の向上を図る ③一般地域及び主要幹線道路の騒音測定 ④測定結果の評価及び公表 ⑤(臨)ダイオキシン類大気一般環境測定						事業の方向性 の見込み (対前年度比)		
										H29 年度	継続	
										H30 年度	臨時 拡充	
										H31 年度	臨時 拡充	
				方向性 (対前年度比)	臨時 拡充	事業費 (百万円)	10.4	うち市負担分 (百万円)	10.4	H32 年度	臨時 拡充	
担当課	部名	産業環境部	課名	環境政策課	会計区分	一般	事業区分	ソフト				
11	事業名	環境アセスメントに関する事務事業										
目的 及び 概要	環境に著しい影響を及ぼすおそれのある開発事業の実施に当たり、事業が環境の保全に十分に配慮して行われるよう、環境影響評価の実施や各方面からの意見の反映を指導する。	H 28 年度	内 容	①開発者及び庁内関係課との調整 ②法に基づく環境影響評価が行われる場合、事業者に対し意見を述べ、国、府と連絡 ③府条例に基づく環境影響評価が行われる場合、府に対し意見書の提出						事業の方向性 の見込み (対前年度比)		
										H29 年度	継続	
										H30 年度	継続	
										H31 年度	継続	
				方向性 (対前年度比)	継続	事業費 (百万円)	0.0	うち市負担分 (百万円)	0.0	H32 年度	継続	
担当課	部名	産業環境部	課名	環境政策課	会計区分	一般	事業区分	ソフト				

★:重点プラン該当取組、◎重点プラン該当事業

取 組		6-1-2		新たな環境課題への対応										
12	事業名	PRTR法等関連事務事業												
	目的 及び 概要	「特定化学物質の環境への排出量の把握及び管理の改善の促進に関する法律」(PRTR法)に基づき、特定化学物質の環境への排出量等の届出を事業者が行い、事業者による化学物質の自主的な管理の改善を促進し、環境の保全上の支障を未然に防止する。	H 28 年 度	内 容	①届出の受理及び審査 ②国への届出 ③結果の公表 ④施設の状況等に関する報告要求及び立入検査 ⑤事業所における化学物質管理計画書の作成を促進します。						事業の方向性の見込み (対前年度比)			
											H29 年度	継続		
											H30 年度	継続		
											H31 年度	継続		
											H32 年度	継続		
方向性 (対前年度比)	継続	事業費 (百万円)	0.0	うち市負担分 (百万円)	0.0	H32 年度	継続							
担当課	部名	産業環境部		課名	環境政策課		会計区分		一般		事業区分	ソフト		
13	事業名	ライフサイエンス環境保全対策事務事業												
	目的 及び 概要	遺伝子組換え実験等を行うライフサイエンス系施設設置者に対し必要な規制を行うことで、地域住民の健康を守り、良好な生活環境を保全する。	H 28 年 度	内 容	①施設設置予定者との協議 ②専門委員会の開催 ③協定の締結及び運用 ④立入調査						事業の方向性の見込み (対前年度比)			
											H29 年度	継続		
											H30 年度	継続		
											H31 年度	継続		
											H32 年度	継続		
方向性 (対前年度比)	継続	事業費 (百万円)	0.2	うち市負担分 (百万円)	0.2	H32 年度	継続							
担当課	部名	産業環境部		課名	環境政策課		会計区分		一般		事業区分	ソフト		

★:重点プラン該当取組、◎重点プラン該当事業

取 組		6-1-3		快適環境の保全									
14	事業名	不法投棄防止・対応事業											
	目的 及び 概要	不法投棄物を撤去することにより、清潔で 美しい地域環境を保全する。	H 28 年度	内 容	①市街地はもとより、不法に投棄される事が多い山 間部を中心にパトロールの実施 ②大阪府(産業廃棄物の不法投棄)と警察と連携 した啓発や対策 ③常時、パトロール車両で不法に投棄された廃棄 物の収集 ④適宜、啓発看板設置						事業の方向性 の見込み (対前年度比)		
											H29 年度	継続	
											H30 年度	継続	
											H31 年度	継続	
					方向性 (対前年度比)	継続	事業費 (百万円)	0.3	うち市負担分 (百万円)	0.2	H32 年度	継続	
担当課	部名	産業環境部	課名	環境事業課	会計区分	一般	事業区分	ソフト					
15	事業名	路上喫煙防止対策事業											
	目的 及び 概要	周りに迷惑をかける路上喫煙を市域からなくし、市民等の安全及び健康的な生活環境を確保するため、路上喫煙の実態を把握するとともにその防止に関する啓発を行う。	H 28 年度	内 容	①路上喫煙の実態を把握するための調査を実施 ②職員、委託業者による巡回指導や市主催のイベ ント等において啓発活動の実施 ③市内の大学や地域と連携し喫煙マナーの啓発 を実施 ④平成30年開業予定の(仮称)JR総持寺駅周辺で の喫煙場所の設置及び禁止地区指定の検討						事業の方向性 の見込み (対前年度比)		
											H29 年度	拡充	
											H30 年度	継続	
											H31 年度	継続	
					方向性 (対前年度比)	継続	事業費 (百万円)	3.5	うち市負担分 (百万円)	3.5	H32 年度	継続	
担当課	部名	市民文化部	課名	市民生活相談課	会計区分	一般	事業区分	ソフト					

事業の方向性の意味については9ページを参照してください。

16	事業名	ごみ集積場所美化事業													
	目的 及び 概要	ごみ集積場所においてごみが散乱している 状況にあるため、パトロール車で啓発を行 い、清潔で美しい地域環境を保全する。				H 28 年度	内 容	①ごみが散乱している集積場所を中心にパトロー ルの実施 ②適正に排出されるよう指導を行う ③適宜、啓発看板設置					事業の方向性 の見込み (対前年度比)		
								方向性 (対前年度比)	継続	事業費 (百万円)	0.0	うち市負担分 (百万円)	0.0	H29 年度	継続
														H30 年度	継続
														H31 年度	継続
														H32 年度	継続
	担当課	部名	産業環境部		課名	環境事業課		会計区分		一般		事業区分		ソフト	

17	事業名	動物愛護推進事業													
	目的 及び 概要	避妊・去勢手術費の補助をすることによ り、捨て猫をなくし、動物愛護について の意識の高揚や動物の虐待の防止を図るた め、猫の飼い主及び一定要件を満たす所 有者不明猫を減らす活動を行う団体に対 して避妊・去勢手術費の一部を補助する。ま た、犬等の飼い主のマナー向上を図るため の啓発活動を行う。				H 28 年度	内 容	①猫の飼い主等に対する避妊・去勢手術費の補 助 ②所有者不明猫活動団体の育成					事業の方向性 の見込み (対前年度比)		
								方向性 (対前年度比)	継続	事業費 (百万円)	1.2	うち市負担分 (百万円)	1.2	H29 年度	継続
														H30 年度	継続
														H31 年度	継続
														H32 年度	継続
	担当課	部名	市民文化部		課名	市民生活相談課		会計区分		一般		事業区分		ソフト	

18	事業名	ごみ屋敷等対応事務事業													
	目的 及び 概要	ごみ屋敷や適正に管理されていない空き 家問題を解決し、快適な生活環境を確保 する。				H 28 年度	内 容	①市内横断的な対応を図り、問題解決に努める ②市内関係各課等によるいわゆる「ごみ屋敷」への 支援連絡会の立ち上げ					事業の方向性 の見込み (対前年度比)		
								方向性 (対前年度比)	拡充	事業費 (百万円)	0.0	うち市負担分 (百万円)	0.0	H29 年度	拡充
														H30 年度	継続
														H31 年度	継続
														H32 年度	継続
	担当課	部名	市民文化部		課名	市民生活相談課		会計区分		一般		事業区分		ソフト	

19	事業名	不法屋外広告物対策等環境美化事業(環境事業課分)													
	目的 及び 概要	不法広告物を迅速に撤去するとともに掲示 者への指導を行う事によって、美化意識の 啓発・向上を図り美しいまちを保全する。				H 28 年度	内 容	①常時、パトロール車両で違法屋外広告物の簡易 除却をおこなう					事業の方向性 の見込み (対前年度比)		
								方向性 (対前年度比)	継続	事業費 (百万円)	0.1	うち市負担分 (百万円)	0.1	H29 年度	継続
														H30 年度	継続
														H31 年度	継続
														H32 年度	継続
	担当課	部名	産業環境部		課名	環境事業課		会計区分		一般		事業区分		ソフト	

事業の方向性の意味については9ページを参照してください。

20	事業名		不法屋外広告物対策等環境美化事業（資源循環課分）										
目的 及び 概要		不法広告物を迅速に撤去するとともに掲示 者への指導を行う。また、協議会と協働して 市内一斉清掃（6月）と街頭キャンペーン（9 月）を実施し、美化意識の啓発・向上を図 る。	H 28 年 度	内 容	①茨木市不法屋外広告物等撤去対策協議会総会 の開催 ②市内一斉清掃（6月） ③街頭キャンペーン（9月）							事業の方向性 の見込み （対前年度比）	
												H29 年度	継続
												H30 年度	継続
												H31 年度	継続
									方向性 （対前年度比）	継続	事業費 （百万円）	1.2	うち市負担分 （百万円）
担当課	部名	産業環境部	課名	資源循環課		会計区分		一般		事業区分	ソフト		

1 施策の概要

まちの将来像	6	心がけから行動へ みんなで創る環境にやさしいまち
施策	6-2	バランスのとれた自然環境をつくる
施策の方向性	みどりを育む取組や生態系への配慮を推進するとともに、身近な「まちの緑」「農地」「里山」「水辺」を保全し、自然とふれあう機会の創出に取り組み、人の生活と自然とのバランスのとれた自然環境を創ります。	
★：重点プラン 該当取組	1	都市とみどりの共存
	2	★ 自然資源の利用の推進
	3	生物多様性の保全
	4	
	5	
	6	
	7	

2 実施計画

★：重点プラン該当取組、◎重点プラン該当事業

取 組		6-2-1		都市とみどりの共存									
1	事業名	緑の基本計画推進事業											
	目的 及び 概要	緑の将来像の実現に向けて、緑地の適正な保全及び緑化の推進に関する目標や取り組み方針、施策等を定め、総合的かつ計画的に実施する。 【関連取組:5-5-2 都市におけるみどりの形成】	H 28 年 度	内 容	①緑の相談事業 18万円 ②情報発信ツールの作成							事業の方向性の見込み (対前年度比)	
												H29 年 度	継続
												H30 年 度	継続
												H31 年 度	継続
			方向性 (対前年度比)	拡充	事業費 (百万円)	0.2	うち市負担分 (百万円)	0.2	H32 年 度	継続			
担当課	部名	建設部	課名	公園緑地課	会計区分	一般	事業区分	ソフト					
2	事業名	ヒートアイランド対策事業											
	目的 及び 概要	ヒートアイランド対策や環境意識の高揚のため、市内の学校等においてみどりのカーテンを設置するとともに、市民・事業者の取り組みに支援を行う。	H 28 年 度	内 容	①説明会の実施 ②配布件数の拡充							事業の方向性の見込み (対前年度比)	
												H29 年 度	継続
												H30 年 度	継続
												H31 年 度	継続
			方向性 (対前年度比)	拡充	事業費 (百万円)	1.2	うち市負担分 (百万円)	1.2	H32 年 度	継続			
担当課	部名	産業環境部	課名	環境政策課	会計区分	一般	事業区分	ソフト					
3	事業名	緑化推進事業											
	目的 及び 概要	都市緑化の推進により、緑豊かで潤いのある街づくりを図るため、公園及び民有地等に市と地域住民との協働で花と緑の輪を広げ、また、住宅等への生垣設置に加え、接道部での緑化や、緑化が困難な場合は壁面緑化についても助成制度を検討する。	H 28 年 度	内 容	①花と緑の街角づくり推進事業 761万円 ②生垣緑化推進事業 23万円 ③壁面緑化推進事業 88万円							事業の方向性の見込み (対前年度比)	
												H29 年 度	継続
												H30 年 度	継続
												H31 年 度	継続
			方向性 (対前年度比)	拡充	事業費 (百万円)	8.8	うち市負担分 (百万円)	8.8	H32 年 度	継続			
担当課	部名	建設部	課名	公園緑地課	会計区分	一般	事業区分	ソフト					

事業の方向性の意味については9ページを参照してください。

4	事業名	安威川河川敷クリーンキャンペーン推進事業														
	目的 及び 概要	親しみとうるおいのある水辺空間として広く市民に親しまれている安威川河川敷の環境美化活動を、地域住民と行政が一体となって推進することにより、良好な水辺環境の保全と向上を図る。	H 28 年度	内 容	①大阪府と市が共同で主催、地元自治会や関係団体の協力を得て安威川河川敷の清掃活動を実施する。								事業の方向性 の見込み (対前年度比)			
													H29 年度	継続		
													H30 年度	継続		
														H31 年度	継続	
															H32 年度	継続
	担当課	部名	建設部	課名	下水道施設課	会計区分	一般		事業区分	ソフト						

5	事業名	親水水路整備事業														
目的 及び 概要	市内中心部を流れる高瀬川・小川親水水路及び南部地域を流れる島地区せせらぎ水路について、適正な維持管理を実施し、市民に憩いとうるおいのある水辺空間の創出に努める。	H 28 年度	内 容	①高瀬川・小川については直営にて維持管理 ②島地区についてはシルバー人材センターに委託											事業の方向性 の見込み (対前年度比)	
H29 年度	継続															
H30 年度	継続															
															H31 年度	継続
															H32 年度	継続
	担当課	部名	建設部	課名	下水道施設課	会計区分	一般		事業区分	ハード						
6	事業名	水辺の保全事業														
目的 及び 概要	公園内の池と周辺の環境・修景を保持する為に、閉鎖された水質の向上を図る。	H 28 年度	内 容	①水質向上の為に機器の設置											事業の方向性 の見込み (対前年度比)	
H29 年度	継続															
H30 年度	継続															
															H31 年度	継続
															H32 年度	継続
	担当課	部名	建設部	課名	公園緑地課	会計区分	一般		事業区分	ハード						
7	事業名	庁舎屋上緑化事業														
目的 及び 概要	ヒートアイランド対策の一環として、庁舎屋上の緑化による屋根焼け防止をすることで、空調効率を高め、省エネルギー化を推進し、温室効果ガス排出のより一層の削減を図る。	H 28 年度	内 容	維持管理 20万円 【本館南屋上 157㎡(議場上)】(H26に設置)											事業の方向性 の見込み (対前年度比)	
H29 年度	継続															
H30 年度	継続															
															H31 年度	継続
															H32 年度	継続
	担当課	部名	総務部	課名	総務課	会計区分	一般		事業区分	ソフト						

事業の方向性の意味については9ページを参照してください。

取 組		6-2-2		★ 自然資源の利用の推進											
8	事業名 ◎ 市民参加型森林保全事業														
	目的 及び 概要	市民参加型の里山保全を推進することにより、美しい里山景観の復元や水源涵養能力など森林の持つ多面的機能を発揮させるほか、森林ボランティアを育成し、市民参加型の里山保全を推進する。 【関連事業:6-2-3 生物多様性の保全】				H 28 年 度	内 容	①森林サポーター養成講座実施委託料及び実施に要する消耗品や保険料					事業の方向性の見込み (対前年度比)		
													H29年度	継続	
													H30年度	継続	
													H31年度	継続	
													H32年度	継続	
方向性 (対前年度比)		継続	事業費 (百万円)	1.8	うち市負担分 (百万円)	1.5	H32年度	継続							
担当課	部名	産業環境部		課名	農林課		会計区分		一般		事業区分	ソフト			
9	事業名 茨木市里山センター運営事業														
	目的 及び 概要	市民参加による自主的な里地里山の保全活動を推進するため森林ボランティアの人材育成と保全活動の拠点施設としての役割を持つ里山センターを、指定管理者制度により運営を行う。				H 28 年 度	内 容	①指定管理料及び指定管理者が行う事業として市が指定した事業					事業の方向性の見込み (対前年度比)		
													H29年度	継続	
													H30年度	継続	
													H31年度	継続	
													H32年度	継続	
方向性 (対前年度比)		継続	事業費 (百万円)	8.2	うち市負担分 (百万円)	8.2	H32年度	継続							
担当課	部名	産業環境部		課名	農林課		会計区分		一般		事業区分	ソフト			
10	事業名 【再掲】林業振興事業														
	目的 及び 概要	公益的な機能を有する森林の健全な管理育成と、都市と農村の交流の場として森林空間の提供を行うほか、林業者団体が実施する森林整備作業に対し支援を行う。 【関連事業:5-1-1 農林業の振興】				H 28 年 度	内 容	①林業者団体等が実施する森林整備事業への補助金を交付 ②森林病虫害対策の実施 ③森林整備に必要な林道の維持経費					事業の方向性の見込み (対前年度比)		
													H29年度	継続	
													H30年度	継続	
													H31年度	継続	
													H32年度	継続	
方向性 (対前年度比)		継続	事業費 (百万円)	(14.9)	うち市負担分 (百万円)	(12.4)	H32年度	継続							
担当課	部名	産業環境部		課名	農林課		会計区分		一般		事業区分	ソフト			

取 組		6-2-3		生物多様性の保全										
11	事業名	環境資源調査事業												
	目的 及び 概要	市内の様々な環境資源の状況を把握することで、生物多様性の保全に関する取り組みの基礎データとする。				H 28 年 度	内 容	①業務委託により、専門家中心の調査実施、調査結果の評価・解析、地図データの作成、報告書の作成					事業の方向性 の見込み (対前年度比)	
													H29 年度	-
													H30 年度	-
													H31 年度	-
							方向性 (対前年度比)	完了	事業費 (百万円)	10.0	うち市負担分 (百万円)	10.0	H32 年度	-
	担当課	部名	産業環境部		課名	環境政策課			会計区分	一般		事業区分	ソフト	

12	事業名	河川体験型環境教育事業												
	目的 及び 概要	子どもと保護者が実際に川に入り、水生生物を捕獲・観察・同定することで、生物多様性など環境意識を向上させる。	H 28 年度	内 容	①市民団体に委託し事業の実施（講師との調整は市民団体が行う）						事業の方向性 の見込み (対前年度比)			
											H29 年度	継続		
											H30 年度	継続		
											H31 年度	継続		
					方向性 (対前年度比)	継続	事業費 (百万円)	0.6	うち市負担分 (百万円)	0.6	H32 年度	継続		
担当課	部名	産業環境部	課名	環境政策課	会計区分	一般		事業区分	ソフト					

13	事業名	【再掲】市民参加型森林保全事業												
	目的 及び 概要	市民参加型の里山保全を推進することにより、美しい里山景観の復元や水源涵養能力など森林の持つ多面的機能を発揮させるほか、森林ボランティアを育成し、市民参加型の里山保全を推進する。 【関連事業:6-2-2 自然資源の利用の推進】	H 28 年度	内 容	①森林サポーター養成講座実施委託料及び実施に要する消耗品や保険料						事業の方向性 の見込み (対前年度比)			
											H29 年度	継続		
											H30 年度	継続		
											H31 年度	継続		
					方向性 (対前年度比)	継続	事業費 (百万円)	(1.8)	うち市負担分 (百万円)	(1.5)	H32 年度	継続		
担当課	部名	産業環境部	課名	農林課	会計区分	一般		事業区分	ソフト					

14	事業名	ホテル再生事業												
	目的 及び 概要	公園における自然環境回復として、西河原公園においてホテルの生息環境を整え保護し、生物と触れ合う機会を創出することで、自然環境や生物多様性に対する意識を向上させる。	H 28 年度	内 容	①ホテル生息環境管理 103万円 ②ホテル生息環境整備 100万円						事業の方向性 の見込み (対前年度比)			
											H29 年度	継続		
											H30 年度	縮小		
											H31 年度	継続		
					方向性 (対前年度比)	継続	事業費 (百万円)	2.1	うち市負担分 (百万円)	2.1	H32 年度	継続		
担当課	部名	建設部	課名	公園緑地課	会計区分	一般		事業区分	ソフト					

15	事業名	みんなで作る環境マップ事業												
	目的 及び 概要	市内の様々な環境資源の状況を、子どもを中心とする市民とともに調査し、把握することで、環境意識の向上を図る。合わせて、特定外来生物についても啓発を行う。	H 28 年度	内 容	①事業の実施方法等を検討						事業の方向性 の見込み (対前年度比)			
											H29 年度	新規		
											H30 年度	完了		
											H31 年度	-		
					方向性 (対前年度比)	-	事業費 (百万円)	-	うち市負担分 (百万円)	-	H32 年度	-		
担当課	部名	産業環境部	課名	環境政策課	会計区分	一般		事業区分	ソフト					

事業の方向性の意味については9ページを参照してください。

1 施策の概要

まちの将来像	6	心がけから行動へ みんなで創る環境にやさしいまち
施策	6-3	ライフスタイルの見直しで低炭素なまちをめざす
施策の方向性	市が率先して省エネルギー対策を行うとともに、市民や事業者と連携して、再生可能エネルギーの利用促進や省エネルギーの推進に努めます。また、情報交換の場を通じてさまざまな主体が連携し、新たな取組の輪を広げ、ライフスタイルの見直しで低炭素なまちをめざします。	
★：重点プラン 該当取組	1	省エネルギーの実践及び普及啓発
	2	再生可能エネルギー・省エネルギー設備の導入促進
	3	
	4	
	5	
	6	
	7	

2 実施計画

★：重点プラン該当取組、◎重点プラン該当事業

取 組		6-3-1		省エネルギーの実践及び普及啓発										
1	事業名	ライフスタイルの省エネ化推進事業												
	目的 及び 概要	省エネ化を推進するため、イベントや広報媒体を活用して、省エネ活動につながる啓発を行うとともに、市民に省エネナビ(家庭用電力使用量測定機器)と環境家計簿の普及促進を行う。	H 28 年 度	内 容	①啓発事業の実施 ②省エネコンテストの実施 ③エコポイント制度と組み合わせるなど、効果的な普及方法を検討し実施							事業の方向性の見込み (対前年度比)		
					方向性 (対前年度比)		継続	事業費 (百万円)	1.3	うち市負担分 (百万円)	1.2	H29 年度	縮小	
											H30 年度	継続		
											H31 年度	継続		
							H32 年度	継続						
	担当課	部名	産業環境部	課名	環境政策課	会計区分	一般		事業区分	ソフト				
2	事業名	エコオフィスプランいばらき推進事業												
	目的 及び 概要	市自らが消費者・事業者として取り組むべき環境配慮を徹底し、環境への負荷の少ない職場づくりを行う。 平成25年3月にISO14001の認証を返上し、独自のPDCAサイクルである「エコオフィスプランいばらき(第4版)」に基づき、全庁的に取り組んでいる。	H 28 年 度	内 容	①職員研修の実施方法を、より効果的な内容に見直し実施する。 ②部会長による部会単位の見直しを行い、部会単位でのPDCAサイクルを充実させる							事業の方向性の見込み (対前年度比)		
					方向性 (対前年度比)		継続	事業費 (百万円)	0.2	うち市負担分 (百万円)	0.2	H29 年度	臨時 拡充	
											H30 年度	継続		
											H31 年度	継続		
							H32 年度	継続						
	担当課	部名	産業環境部	課名	環境政策課	会計区分	一般		事業区分	ソフト				
3	事業名	環境教育・啓発事業												
	目的 及び 概要	将来を担う子どもたちをはじめとする幅広い市民を対象に、環境に関する学習会・研修会・観察会等を開催し、環境保全意識を高め、環境行動につなげていく。実施にあたっては、市が直接実施するほか、環境教育ボランティアや市内環境保全活動市民団体と協働する。	H 28 年 度	内 容	①小学校向け環境教育の充実 ②茨木の環境をテーマとした「身近な環境と向き合う講座」を開催 ③様々な団体と協働で環境教育を実施するとともに、環境教育サポーター制度を運用 ④環境教育の拠点となる施設のあり方を検討							事業の方向性の見込み (対前年度比)		
					方向性 (対前年度比)		継続	事業費 (百万円)	1.0	うち市負担分 (百万円)	0.7	H29 年度	拡充	
											H30 年度	継続		
											H31 年度	継続		
							H32 年度	継続						
	担当課	部名	産業環境部	課名	環境政策課	会計区分	一般		事業区分	ソフト				

事業の方向性の意味については9ページを参照してください。

4	事業名		エコポイント制度実施事業										
	目的 及び 概要			H 28 年度	内 容	①市を事務局として制度を立ち上げ、ポイント発行 ②環境基本計画のプラットフォームにおいて意見交換 ③市内事業所も巻き込んだ29年度以降の拡充策を検討						事業の方向性 の見込み (対前年度比)	
												H29 年度	継続
												H30 年度	拡充
												H31 年度	継続
方向性 (対前年度比)	新規	事業費 (百万円)	4.7	うち市負担分 (百万円)	4.5	H32 年度	継続						
担当課	部名	産業環境部	課名	環境政策課	会計区分	一般		事業区分	ソフト				
5	事業名		環境フェア開催事業										
	目的 及び 概要			H 28 年度	内 容	①効果的な開催日程の選定 ②必要に応じ環境フェアの実施方法の見直し						事業の方向性 の見込み (対前年度比)	
												H29 年度	縮小
												H30 年度	継続
												H31 年度	継続
方向性 (対前年度比)	継続	事業費 (百万円)	6.5	うち市負担分 (百万円)	0.2	H32 年度	継続						
担当課	部名	産業環境部	課名	環境政策課	会計区分	一般		事業区分	ソフト				

★：重点プラン該当取組、◎重点プラン該当事業

取 組		6-3-2		再生可能エネルギー・省エネルギー設備の導入促進										
6	事業名		太陽光発電システム等導入推進事業											
	目的 及び 概要	再生可能エネルギーの普及促進や省エネ、省CO2を推進し、環境負荷の軽減を図るため、太陽光発電システム、家庭用燃料電池、太陽熱利用システムを設置した市民にその経費の一部を補助する。効果的な導入促進のため、平成26年度から平成28年度までの3年間、継続して行う。また、公共施設への再生可能エネルギーの効果的な導入のため、国の施策や補助金等の活用を検討し、施設担当課への情報提供を行う。			H 28 年度	内 容	①住宅用太陽光発電システム、家庭用燃料電池、太陽熱利用システムの設置に対する補助金の支給・次年度以降の方向性の検討 ②再生可能エネルギーの公共施設への導入検討						事業の方向性 の見込み (対前年度比)	
													H29 年度	縮小
													H30 年度	継続
													H31 年度	継続
方向性 (対前年度比)	継続	事業費 (百万円)	25.0	うち市負担分 (百万円)	25.0	H32 年度	継続							
担当課	部名	産業環境部		課名	環境政策課		会計区分		一般		事業区分		ソフト	
7	事業名		省エネ・省CO2設備導入補助事業											
	目的 及び 概要	省エネルギー改修を実施する中小企業者に対し、市が補助金を交付することにより省エネルギー設備及び新エネルギー利用設備の普及並びに二酸化炭素排出量の削減を促進し、もって市域の低炭素化を図る。			H 28 年度	内 容	①市内事業者への太陽光発電システムや高効率空調設備等の省エネ・省CO2設備の導入に対する補助金の支給						事業の方向性 の見込み (対前年度比)	
													H29 年度	継続
													H30 年度	継続
													H31 年度	継続
方向性 (対前年度比)	継続	事業費 (百万円)	15.0	うち市負担分 (百万円)	15.0	H32 年度	継続							
担当課	部名	産業環境部		課名	環境政策課		会計区分		一般		事業区分		ソフト	

事業の方向性の意味については9ページを参照してください。

8	事業名	街路灯LED化促進事業													
	目的 及び 概要	既存の街路灯を計画的にLED灯に転換することにより、環境負荷の低減を図る。				H 28 年度	内 容	①計画的なLED灯への転換					事業の方向性 の見込み (対前年度比)		
								方向性 (対前年度比)	継続	事業費 (百万円)	20.0	うち市負担分 (百万円)	20.0	H29 年度	継続
													H30 年度	継続	
													H31 年度	継続	
													H32 年度	継続	
	担当課	部名	建設部		課名	建設管理課		会計区分		一般		事業区分	ソフト		

9	事業名	庁舎へのLED導入事業													
	目的 及び 概要	庁舎の省エネルギー化を推進するため、年次的にLED照明設備等を導入する。				H 28 年度	内 容	①本館7階 130本 ②南館7階 375本 [平成27年度までの実績] ①本館 2,430本 ②南館 1,953本 ③外講 65本 事業費 157.9百万円					事業の方向性 の見込み (対前年度比)		
								方向性 (対前年度比)	継続	事業費 (百万円)	19.7	うち市負担分 (百万円)	19.7	H29 年度	継続
													H30 年度	継続	
													H31 年度	継続	
													H32 年度	継続	
	担当課	部名	総務部		課名	総務課		会計区分		一般		事業区分	ソフト		

10	事業名	エコカー等導入促進事業													
	目的 及び 概要	業務の迅速かつ機動的な活動を援助するため、公用車(軽自動車、単車、自転車)を配置しているが、低公害車・電動自転車を効率的に配車することで、ガソリン等の燃料使用量を減らすとともに省エネルギーの実践に努め、低炭素なまちづくりの実現に貢献する。				H 28 年度	内 容	①環境に配慮した低公害車、電動自転車の効率的な配車により、ガソリン等の燃料使用量を減らすことにより、低炭素なまちづくりの実現に貢献するとともに、燃料費の一層の削減を図る(平成28年度歳出予算額:22,189千円)					事業の方向性 の見込み (対前年度比)		
								方向性 (対前年度比)	継続	事業費 (百万円)	22.2	うち市負担分 (百万円)	22.2	H29 年度	継続
													H30 年度	継続	
													H31 年度	継続	
													H32 年度	継続	
	担当課	部名	総務部		課名	総務課		会計区分		一般		事業区分	ハード		

11	事業名	市営駐車場へのLED導入事業													
	目的 及び 概要	環境負荷の低減及び節電を図るため、市営駐車場にLED照明設備を導入する。				H 28 年度	内 容	H28実施予定なし(H31年度実施予定)					事業の方向性 の見込み (対前年度比)		
								方向性 (対前年度比)	-	事業費 (百万円)	-	うち市負担分 (百万円)	-	H29 年度	-
													H30 年度	-	
													H31 年度	継続	
													H32 年度	継続	
	担当課	部名	建設部		課名	建設管理課		会計区分		一般		事業区分	ハード		

事業の方向性の意味については9ページを参照してください。

3 過去の実施計画期間中で完了・廃止した事業(担当部課名は事業実施最終年度の名称)

取 組		6-3-2		再生可能エネルギー・省エネルギー設備の導入促進					
E1	事業名	【再掲】指定避難所再生可能エネルギー設備設置事業(平成27年度で完了)							
	目的 及び 概要	停電時にも応急救護活動が支障なく行われるよう、応急救護所を開設する指定避難所に太陽光発電及び蓄電池設備を設置する。 【関連取組:4-1-1 防災体制の強化】							
	担当課	部名	総務部	課名	危機管理課	会計区分	一般	事業区分	ハード

1 施策の概要

まちの将来像	6	心がけから行動へ みんなで創る環境にやさしいまち
施策	6-4	きちんと分別で資源の循環をすすめる
施策の方向性	資源の循環とごみの減量化を図るため、新たな分別品目の追加検討を行うとともに、市民等への意識啓発に努めるほか、処理施設については、炉の更新に向けて計画的に取り組めます。 また、市民、事業者は、ごみの発生抑制、再資源化に努め、きちんとした分別で資源の循環を進めます。	
取組 ★：重点プラン 該当取組	1	減量化の推進
	2	再資源化の推進
	3	適正処理の推進
	4	
	5	
	6	
	7	

2 実施計画

★：重点プラン該当取組、◎重点プラン該当事業

取組	6-4-1	減量化の推進
1	事業名	一般廃棄物処理基本計画策定事業
	目的及び概要	平成27年度に策定した一般廃棄物処理基本計画（初年度：平成28年度）は平成37年度を目標年度とする10年間の計画期間であるが、平成32年度を中間目標年度とし、翌平成33年度には中間見直しを行う。 【関連取組：6-4-2 再資源化の推進】
	H28年度	内容 ①進捗状況の確認及び評価の実施
	方向性（対前年度比）	継続
	事業費（百万円）	0.0
	うち市負担分（百万円）	0.0
	H29年度	継続
	H30年度	継続
	H31年度	継続
	H32年度	臨時拡充
担当課	部名	産業環境部
	課名	資源循環課
	会計区分	一般
	事業区分	ソフト
2	事業名	家庭系ごみ減量推進事業
	目的及び概要	循環型社会の形成をめざし、市民がごみの減量化と再資源化に関する理解を深め、3Rの取組を実行できるよう、啓発等を行う。 【関連取組：6-4-2 再資源化の推進】
	H28年度	内容 ①児童向け啓発冊子作成 ②出前講座の実施 ③資源物持ち去りパトロールの実施 ④廃棄物減量等推進審議会の運営 ⑤廃棄物減量等推進員の活動促進 ⑥ごみ分別アプリの運用（65万円） ⑦（臨）啓発冊子の作成・配布（461万円） ⑧廃棄物減量等推進員制度のごみ減量化施策を検討
	方向性（対前年度比）	臨時拡充
	事業費（百万円）	7.5
	うち市負担分（百万円）	7.5
	H29年度	拡充
	H30年度	継続
	H31年度	継続
	H32年度	臨時拡充
担当課	部名	産業環境部
	課名	資源循環課
	会計区分	一般
	事業区分	ソフト
3	事業名	事業系ごみ減量推進事業（ソフト）
	目的及び概要	循環型社会の形成をめざし、事業系ごみの発生抑制、再使用、再生利用及び適正処理を促進することにより、ごみの減量化と再資源化を推進する。 【関連取組：6-4-2 再資源化の推進】
	H28年度	内容 ①事業所への訪問・指導 ②廃棄物管理責任者研修会の実施 ③減量化・再資源化が効果的に図られる支援策の立案
	方向性（対前年度比）	継続
	事業費（百万円）	2.1
	うち市負担分（百万円）	2.1
	H29年度	拡充
	H30年度	継続
	H31年度	継続
	H32年度	継続
担当課	部名	産業環境部
	課名	資源循環課
	会計区分	一般
	事業区分	ソフト

事業の方向性の意味については9ページを参照してください。

4	事業名		事業系ごみ減量推進事業(ハード)											
	目的 及び 概要	循環型社会の形成をめざし、事業系ごみの発生抑制、再使用、再生利用及び適正処理を促進することにより、ごみの減量化と再資源化を推進する。 【関連取組:6-4-2 再資源化の推進】			H 28 年度	内 容	①事業所生ごみ処理機の購入補助(300万円)						事業の方向性 の見込み (対前年度比)	
													H29 年度	継続
													H30 年度	継続
													H31 年度	継続
方向性 (対前年度比)	継続	事業費 (百万円)	3.0	うち市負担分 (百万円)	3.0	H32 年度	継続							
担当課	部名	産業環境部	課名	資源循環課	会計区分	一般		事業区分	ハード					

5	事業名		生ごみ処理容器等支援事業											
	目的 及び 概要	家庭から排出される生ごみの減量化を図るため、生ごみ処理容器等の購入費用を助成するなど、普及促進を図る。			H 28 年度	内 容	①生ごみ処理容器等の購入補助 ②(臨)ダンボールコンポスト市民モニターの実施(12万円)						事業の方向性 の見込み (対前年度比)	
													H29 年度	継続
													H30 年度	継続
													H31 年度	継続
方向性 (対前年度比)	臨時 拡充	事業費 (百万円)	1.7	うち市負担分 (百万円)	1.7	H32 年度	継続							
担当課	部名	産業環境部	課名	資源循環課	会計区分	一般		事業区分	ソフト					

★:重点プラン該当取組、◎重点プラン該当事業

取 組		6-4-2		再資源化の推進																	
6	事業名		再生資源集団回収報奨金事業																		
	目的 及び 概要	ごみの減量及び資源の有効利用並びにごみ減量に対する市民の意識向上を図るため、自主的に再生資源集団回収を行う地域住民団体に対し、市が報奨金を支給する。										H 28 年度	内 容	①集団回収を行う地域住民団体に対し、報奨金を支給						事業の方向性 の見込み (対前年度比)	
																				H29 年度	継続
																				H30 年度	継続
																				H31 年度	継続
																				方向性 (対前年度比)	継続
担当課	部名	産業環境部		課名	資源循環課		会計区分		一般		事業区分		ソフト								
7	事業名		【再掲】事業系ごみ減量推進事業(ハード)																		
	目的 及び 概要	循環型社会の形成をめざし、事業系ごみの発生抑制、再使用、再生利用及び適正処理を促進することにより、ごみの減量化と再資源化を推進する。 【関連取組:6-4-1 減量化の推進】										H 28 年度	内 容	①事業所生ごみ処理機の購入補助(300万円)						事業の方向性 の見込み (対前年度比)	
																				H29 年度	継続
																				H30 年度	継続
																				H31 年度	継続
																				方向性 (対前年度比)	継続
担当課	部名	産業環境部		課名	資源循環課		会計区分		一般		事業区分		ハード								

事業の方向性の意味については9ページを参照してください。

8	事業名	【再掲】家庭系ごみ減量推進事業													
	目的 及び 概要	循環型社会の形成をめざし、市民がごみの減量化と再資源化に関する理解を深め、3Rの取組を実行できるよう、啓発等を行う。 【関連取組:6-4-1 減量化の推進】				H 28 年度	内 容	①児童向け啓発冊子作成 ②出前講座の実施 ③資源物持ち去りパトロールの実施 ④廃棄物減量等推進審議会の運営 ⑤廃棄物減量等推進員の活動促進 ⑥ごみ分別アプリの運用(65万円) ⑦(臨)啓発冊子の作成・配布(461万円) ⑧廃棄物減量等推進員制度のごみ減量化施策を検討					事業の方向性 の見込み (対前年度比)		
								方向性 (対前年度比)	臨時 拡充	事業費 (百万円)	(7.5)	うち市負担分 (百万円)	(7.5)	H29 年度	拡充
														H30 年度	継続
														H31 年度	継続
														H32 年度	臨時 拡充
	担当課	部名	産業環境部		課名	資源循環課		会計区分		一般		事業区分		ソフト	
9	事業名	【再掲】事業系ごみ減量推進事業(ソフト)													
	目的 及び 概要	循環型社会の形成をめざし、事業系ごみの発生抑制、再使用、再生利用及び適正処理を促進することにより、ごみの減量化と再資源化を推進する。 【関連取組:6-4-1 減量化の推進】				H 28 年度	内 容	①事業所への訪問・指導 ②廃棄物管理責任者研修会の実施 ③減量化・再資源化が効果的に図られる支援策の立案					事業の方向性 の見込み (対前年度比)		
														H29 年度	拡充
														H30 年度	継続
														H31 年度	継続
														H32 年度	継続
	担当課	部名	産業環境部		課名	資源循環課		会計区分		一般		事業区分		ソフト	

★:重点プラン該当取組、◎重点プラン該当事業

取 組		6-4-3		適正処理の推進											
10	事業名		廃棄物処理施設整備調査・検討事業												
	目的 及び 概要	本市の廃棄物の将来を見据え、次期廃棄物処理施設整備について、炉の更新を含めて調査・検討する。				H 28 年度	内 容	①PFI導入の是非及び整備・運営方式の想定 ②関係課会議等による炉の処理方式、構造物の配置・動線、建設方法等の検討 ③摂津市と広域化について検討 ④環境省との調整等(出張旅費)129千円						事業の方向性 の見込み (対前年度比)	
														H29 年度	臨時 拡充
														H30 年度	臨時 拡充
														H31 年度	臨時 拡充
						方向性 (対前年度比)	継続	事業費 (百万円)	0.1	うち市負担分 (百万円)	0.1	H32 年度	臨時 拡充		
担当課	部名	産業環境部		課名	資源循環課		会計区分		一般		事業区分	ソフト			
11	事業名		ごみ処理施設運営事業												
	目的 及び 概要	市域で発生した一般廃棄物を適正確実に処理するため、事故のない安全で安定した施設運営を図るとともに、効率的な運用に努める。				H 28 年度	内 容	①安全で安定した施設運営 ②代替燃料の検討をさらに進めます。						事業の方向性 の見込み (対前年度比)	
														H29 年度	継続
														H30 年度	継続
														H31 年度	継続
						方向性 (対前年度比)	継続	事業費 (百万円)	1798.7	うち市負担分 (百万円)	1798.7	H32 年度	継続		
担当課	部名	産業環境部		課名	環境事業課		会計区分		一般		事業区分	ソフト			

事業の方向性の意味については9ページを参照してください。